

化学工業日報 2019年9月24日(火) 「タイ特集」

昭和興産タイランド

水野裕行社長



昭和興産タイランド（水
野裕行社長）は、化学品、
エレクトロニクスや食品分
野を中心に好調に推移し、
2018年売上高は前年比
10%増と大きく伸びた。取
り扱う商材の幅を広げると
ともに、ベトナムなど周辺
国への展開も強化し、新た
な成長ステージへと突入す
る。

同社は化学品や合成樹
脂、エレクトロニクス関連
や食品分野などで幅広い商
材を取り扱い、さまざまな
マーケットをバランスよく
カバーしている。タイ国内
の主要工場地計11カ所に
置く営業倉庫を活用して、
タイムリーかつ正確な製品
供給を行っている。トレー
ディング会社だが、ISO
9001認証を取得。引き
続い「顧客満足度の向上」
に向けて細かいサービス
の提供を追求していく。
設立から22年が経過し、
さらなる成長に向けた施策

を相次ぎ実行する。タイ
ほか周辺国へのマーケティ
ングも強めており、その一
環としてベトナムに進出す
予定。昭和興産タイラン
ドが全面支援して体制を整
え、2020年に営業を開
始する計画で準備を進めて
いる。

タイ国内では新規ビジネ
スとして工場向け簡易設備
監視システム「e-FUJI
IYAMA」の販売に乗り
出した。機械装置を無線セ
ンサーで監視する簡易シス
テムで、日本で120社以
上に採用されている。タイ
では操業の安定化や工場作
業の自動化につながるシス
テム導入を検討する企業が
増加している。拡大が見込
まれる市場を開拓し早期に
年間売上高1億円を目指
す。

そのほか、樹脂やゴム関
連製品で新規品の取り扱い
を開始する。タイでの実績
をベースにベトナムへの展
開も狙う。また、インドから潤滑剤
の輸入販売、中国の添加剤
メーカーと新たな代理店契
約締結などを入れ先の多様
化を進めている。顧客のニ
ーズに迅速に対応し需要を
取り込んでいく。